



第4号

〈発行〉名古屋芸術大学
人間発達研究所



新年おめでとうございます。



人間発達研究所長 佐藤勝利

ワークショップにご参加いただいている皆さんのおかげで、「にこにこ通信」も4号を発行する運びとなりました。この1年、ワークショップではいろいろな活動を行って参りました。とりわけ、小さなお子さんをもつ方々ばかりではなく、地域の様々な世代の方々との交流の場を持つとしましたのは、新しい試みの1つでございました。皆さんはどのような感想をおもちになりましたか。

「上の子が泣いていたら、下の子をほっておいても上の子をみよ。」三重県のある地方にはこんな言い伝えが残っています。

下の子どもさんが生まれると、お母さんの関心はどうしても小さなお子さんに向かいがちです。上のお子さんは、一時的にせよ、弟や妹にお母さんを取られてしまったように感じるのかもしれませんが。そんなときに「下の子をほっておいても上の子をみよ」、「それくらいでちょうどいいんですよ」というのです。何と機知に富んだ言葉ではありませんか。

長い長い人々の歴史の中で、あるいは地域の文化の中で、産み出され伝えられてきた愛や英知を次代に引き継いでいくことが私たちの生涯の課題なのかもしれませんね。

「遊ぶ子どもの声聞けばわが身さえこそ動^{ゆる}がるれ」

一地域のあちらこちらに「にこにこ」の遊びの種を蒔く人と願いつつー

同研究所運営委員長 金田利子



本学に遊びの広場が開かれて4年目、「にこにこ通信」が発行されて2年・4号目、新しい施設になって1年目、段々と改善されてきています。庭には砂場も設置され、室内の乳幼児用の滑り台も入ったばかりです。子どもたちの嬉しそうに遊ぶ姿を見ていると、こちらまでうれしくなります。まるで、あの「遊びをせんとや生まれけむ・・・」という梁塵秘抄の歌のように。学生参加も定着し、世代の異なる方々との遊びも取り入れてみました。

登録者数も100組を超えました。その中から、幼稚園や保育園に巣立つお友達も20組近くおられます。そこで、巣立つ保護者の皆さん、ワークショップで、何かのための手段ではなく、遊びそのものの面白さ、奥深さを知った皆さん、成ろうことなら、これから子育ての中で出会う方々に、たんぼぼの綿毛のように、遊びの種を蒔き、心を揺さぶりながら関わり合い話し合える仲間の輪を広げていく旗手にと願っています。



「にこにこワークショップ」活動報告
新しい部屋（11号館1階）に移動しました。

外で砂遊びができるよ（砂場）



落書きがいっぱいできるよ（ホワイトボード）



いつでも手洗いできるよ（手洗い場）



移動棚で、いろいろな遊びのコーナーができるよ



登ったり、滑ったり降りたり、もぐったり、大きな遊具で遊べるよ。



ワークショップ内には、学生の手作り作品・おもちゃがいっぱい・・・



開くと何が出てくるのかな



一緒にツリーづくり



ミニミニ講座
2012年度 開催講座

「楽器であそぼう」

古川 美枝子先生 (6月27日)

- ・音やリズムや楽器など親子共々楽しませていただき、新鮮でよかったです。家でもいろいろな音に触れさせてあげたいと思いました。
- ・楽しくできると日常で自然と身につく遊べるのいいと思いました。参考にしたいと思います。
- ・子どもは、やはり「音楽が好きなんだなあ」と思ったひと時でした。生活で音楽を楽しむ時間を作りたいと思いました。

「子育てのポイント一食（内部被爆）育一」

加藤 暢夫先生 (7月4日開催)

- ・以前から放射能を気にしすぎてもという思いがありましたが、できることは実践していきたいと感じました。
- ・実は、あまり放射能のことは気にしていなかったのですが、今後野菜などしっかり洗うようにします。
- ・かわり、遊び、コミュニケーション（会話）、食事と育児に関する話が聞けてとても勉強になりました。心に余裕を持ち子どもと接していけるよう努力したいです。

「サルの子育てヒトの子育て」

茶谷 薫先生 (10月31日開催)

- ・サルの子育ては初めて聞く話でもとても興味深く、子どもを思う気持ちはサルもヒトも一緒なのだと思います。
- ・サルの子育ての話聞き、子育てにはいろいろな意味があるのだと思いました。勉強になりました。
- ・一夫多妻制の話は目からうろこで、勉強になりました。

世代間交流

1月10日開催

《今回が、第一回の企画事業です》

北名古屋市の男性2名女性3名の方が来てくださいました



地域のおばあちゃん（子どもにとって）にあやとりを教えていただきました



♪でたでた つきが…♪ ♪
♪もしもしかめよ♪ かめさんよ♪
なつかしい歌を聞かせていただきました



地域のおじいちゃん（子どもにとって）と、球を入れたり投げたりして遊びました。



手遊びしながら歌いましょう

参加者の声 (原文のまま掲載)

- 童謡を歌って聞かせる大切さ、以前も聴いたことがありましたが、この落ち着いたメロディー心にしみりますね。
- 世代間交流とのことで、おじいさん、おばあさんと遊んだりお話しする機会があつてすごく良かった。
- 世代が違う方との交流もなかなか機会がないので、増やしていただけると嬉しいです。
- おじいちゃん、おばあちゃんが離れているので、楽しかったです。
- 学生さんが童謡を知らなかったのは、びっくりしました。子どもにいっぱい歌ってあげたいと思いました。

巣立っていくお友だちのお祝いをしましょう



4月から幼稚園・保育園での集団生活をスタートさせる方が、このワークショップを巣立っていきます。ワークショップに参加している皆さんで、お祝いの会をしましょう。

特別ワークショップ『歓送会』

- ・日時： 2月13日（水曜日） 10時～12時
- ・場所： 「にこにこワークショップ」の部屋（11号館1階）
- ・持ち物： おしぼり・飲み物

*簡単なおやつを用意いたします。

なお、アレルギー等のある方は、おやつをご家庭からご持参ください。

来年度の予定

2013年度（25年度）の開催につきましては、5月の連休明けに初回を予定しております。

詳しくは、後日お知らせいたします。



《事務局より》

明けましておめでとうございます。皆さまには、お子さまとともに和やかな新年を迎えられたことと存じます。昨年は、長年念願していた子育て支援スペースが11号館の1階に新設され、親子の皆さまと新鮮な、明るい気持ちで、子育てと子育ての魅力を感じることができました。本年は、さらに、よりよい子育てと子育てが実感できる「にこにこワークショップ」に成長するよう願っています。今後、大学にはここを中心に、大勢の親子が集い、いろいろな人が立ち寄ることと思います。そこで、一言。お子様の安全確保、貴重品の管理にはお互いに気を付け合っていただきたいと思います。

人間発達研究所運営委員 鈴木岩雄



2012年度も「にこにこワークショップ」に、たくさんのお子さんとお母さんが参加してくださり、多くの方々との出会いが出来ましたことをうれしく思っております。

10月17日からは、新しく広い施設へ移り、子どもたちが目を輝かせて、新たな遊具やコーナーで遊ぶ姿に、私たちもたくさんの喜びを感じさせてもらいました。

学生たちも、自由な遊びのなかで、また手遊びや紙芝居などを通して、お子さんやお母さんたちとの触れ合いをもち、多くのことを学ばせていただきました。これらを糧に、来年度もこのワークショップをより充実させていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。いろいろとご協力ありがとうございました。

《指導員一同》

